町工場技能者コンクール

中小企業若手技能者競技大会

～若き技能者たちの魂の技を目撃せよ～

愛知県は11月12、13の両日、愛知総合工科高校（名古屋市千種区）で、中小企業の若手が腕を競う「町工場技能者コンクール（中小企業若手技能者競技大会）」を開催した。“モノづくり王国・愛知”の明日を担う若手たちが、日ごろの業務で培った技能を存分に発揮し、熱い戦いを繰り広げた。

あいち人財力強化プロジェクト
イメージキャラクター
「アイチータ」

▲競技に臨む選手の表情は真剣そのもの

▲プレゼンテーションも採点対象となった「電子機器組立て」

▲静かな戦いが繰り広げられた「機械製図」

▲旋盤の完成作品

事前講習と自主練習の成果
競技本番でいかんなく

町工場技能者コンクールは、次世代のモノづくりを支える人材の育成を図るため、同県が開催している。若手技能者の育成（技能伝承）の促進と、技能尊重機運の醸成を目的に、「技能五輪」に参加しにくい中小企業の若手技能者を対象としている。

今回は同県内に事業所を有する中小企業に勤務する35歳以下の技能者を対象としており、競技は「旋盤」「機械製図」「電子機器組立て」の3職種で実施した。

▲愛知総合工科高校の機械加工実習室で実施された「旋盤」

3職種とも9月から技能のレベルアップを図る「事前講習会」を開いており、各競技の参加選手は熟練の講師陣のもと、本番に向けて練習を重ねてきた。また事前講習会だけではなく、職場や自宅でも積極的に〝自主練〟に努めた選手も多かった。

まず、11月12日に旋盤職種が行われ、15人が参加した。「穴加工に苦労した」「ネジのはめ合わせが難しかった」などだ。本番に向けて練習を重ね、「持ち前のセンス」（鬼頭明孝同社社長）を発揮して米冠をつかんだ。

準優勝は仲上和志選手（瑞木製作所）。工業高校卒業後、入社して3年に満たないが「不良を1回も出したことがない」（鈴木邦男同社会長）という確かな技術力が光った。

第3位に入賞したのは、山田拓実選手（明和eテック）。機械製図の経験はまだ2年ほどだが、「スキルを上げるため、教本でコツコツと勉強した」という努力が実った。

電子機器組立て職種は、成瀬貴臣選手（中日本炉工業）。自宅でも練習に取り組み、思いを遂げた。

翌13日は機械製図職種が開かれ、16人の選手が出場。事前講習会で得た知識、技術を生かしながら、パソコンに向かって真剣なまなざしで取り組んだ。

見栄えも含めたさまざまな観点から採点を行った結果、優勝したのは鈴木賢太選手（バイナス）。「実力から上位入賞を当然、期待されていた」（永井伸幸同社取締役技術部長）が、そのプレッシャーに負けず、結果を出した。

準優勝は同じくバイナスの梅本健斗選手。旋盤を使って支給された材料でコマを製作し、「どれだけ長く回るか」をルールに競い、8校17チーム（29人）が参加した。

トーナメント形式で戦い、優勝に岡崎工業高校の「岡崎工業Bチーム」、準優勝に同校の「岡崎工業Cチーム」、第3位に愛知工業高校の「チームドスコイ」が輝いた。また、アニメ「機動戦士ガンダム」のメカニックデザインで知られる大河原邦男氏がデザインや工夫の面で優れたコマを賞する「大河原邦男賞」に、岡崎工業高校の「岡崎工業Aチーム」が選ばれた。

出場した生徒たちは経験は初めてだったようだったが、制限の5時間をフルに使って、作品を仕上げた。

その結果、見事に優勝を果たしたのは、「汎用旋盤はたまにしか使わない」という冨田圭一選手（鬼頭精器製作所）だ。本番に向けて苦労した「ネジのはめ合わせが難しかった」をつかんだ。

準優勝は仲上和志選手（瑞木製作所）。工業高校卒業後、入社して3年に満たないが「不良を1回も出したことがない」（鈴木邦男同社会長）という確かな技術力が光った。

第3位に入賞したのは、山田拓実選手（明和eテック）。機械製図の経験はまだ2年ほどだが、「スキルを上げるため、教本でコツコツと勉強した」という努力が実った。

電子機器組立て職種は、成瀬貴臣選手（中日本炉工業）。自宅でも練習に取り組み、思いを遂げた。

日々の地道な努力
上位入賞者に共通

翌13日は機械製図職種が開かれ、16人の選手が出場。事前講習会で得た知識、技術を生かしながら、パソコンに向かって真剣なまなざしで取り組んだ。

見栄えも含めたさまざまな観点から採点を行った結果、優勝したのは鈴木賢太選手（バイナス）。「実力から上位入賞を当然、期待されていた」（永井伸幸同社取締役技術部長）が、そのプレッシャーに負けず、結果を出した。

準優勝は同じくバイナスの梅本健斗選手。旋盤を使って支給された材料でコマを製作し、「どれだけ長く回るか」をルールに競い、8校17チーム（29人）が参加した。

トーナメント形式で戦い、優勝に岡崎工業高校の「岡崎工業Bチーム」、準優勝に同校の「岡崎工業Cチーム」、第3位に愛知工業高校の「チームドスコイ」が輝いた。また、アニメ「機動戦士ガンダム」のメカニックデザインで知られる大河原邦男氏がデザインや工夫の面で優れたコマを賞する「大河原邦男賞」に、岡崎工業高校の「岡崎工業Aチーム」が選ばれた。

出場した生徒たちは経験は初めてだったようだったが、制限の5時間をフルに使って、作品を仕上げた。

その結果、見事に優勝を果たしたのは、「汎用旋盤はたまにしか使わない」という冨田圭一選手（鬼頭精器製作所）だ。本番に向けて苦労した「ネジのはめ合わせが難しかった」をつかんだ。

準優勝は仲上和志選手（瑞木製作所）。工業高校卒業後、入社して3年に満たないが「不良を1回も出したことがない」（鈴木邦男同社会長）という確かな技術力が光った。

第3位に入賞したのは、山田拓実選手（明和eテック）。機械製図の経験はまだ2年ほどだが、「スキルを上げるため、教本でコツコツと勉強した」という努力が実った。

電子機器組立て職種は、成瀬貴臣選手（中日本炉工業）。自宅でも練習に取り組み、思いを遂げた。

▲県内工業高校生による「コマ大戦」も大いに盛り上がった

▲大村知事を囲んで競技主査と入賞者による記念写真

併催イベントも多彩に
知事の熱いエールも

また、同日には併催イベントとして、同県内の工業高校生を対象とした「U18作って回そう！手づくりコマ大戦」も開催された。旋盤を使って支給された材料でコマを製作し、「どれだけ長く回るか」をルールに競い、8校17チーム（29人）が参加した。

3職種とも9月から技能のレベルアップを図る「事前講習会」を開いており、各競技の参加選手は熟練の講師陣のもと、本番に向けて練習を重ねてきた。また事前講習会だけではなく、職場や自宅でも積極的に〝自主練〟に努めた選手も多かった。

まず、11月12日に旋盤職種が行われ、15人が参加した。「穴加工に苦労した」「ネジのはめ合わせが難しかった」などだ。本番に向けて練習を重ね、「持ち前のセンス」（鬼頭明孝同社社長）を発揮して米冠をつかんだ。

準優勝は仲上和志選手（瑞木製作所）。工業高校卒業後、入社して3年に満たないが「不良を1回も出したことがない」（鈴木邦男同社会長）という確かな技術力が光った。

第3位に入賞したのは、山田拓実選手（明和eテック）。機械製図の経験はまだ2年ほどだが、「スキルを上げるため、教本でコツコツと勉強した」という努力が実った。

電子機器組立て職種は、成瀬貴臣選手（中日本炉工業）。自宅でも練習に取り組み、思いを遂げた。

翌13日は機械製図職種が開かれ、16人の選手が出場。事前講習会で得た知識、技術を生かしながら、パソコンに向かって真剣なまなざしで取り組んだ。

見栄えも含めたさまざまな観点から採点を行った結果、優勝したのは鈴木賢太選手（バイナス）。「実力から上位入賞を当然、期待されていた」（永井伸幸同社取締役技術部長）が、そのプレッシャーに負けず、結果を出した。

準優勝は同じくバイナスの梅本健斗選手。旋盤を使って支給された材料でコマを製作し、「どれだけ長く回るか」をルールに競い、8校17チーム（29人）が参加した。

トーナメント形式で戦い、優勝に岡崎工業高校の「岡崎工業Bチーム」、準優勝に同校の「岡崎工業Cチーム」、第3位に愛知工業高校の「チームドスコイ」が輝いた。また、アニメ「機動戦士ガンダム」のメカニックデザインで知られる大河原邦男氏がデザインや工夫の面で優れたコマを賞する「大河原邦男賞」に、岡崎工業高校の「岡崎工業Aチーム」が選ばれた。

出場した生徒たちは経験は初めてだったようだったが、制限の5時間をフルに使って、作品を仕上げた。

その結果、見事に優勝を果たしたのは、「汎用旋盤はたまにしか使わない」という冨田圭一選手（鬼頭精器製作所）だ。本番に向けて苦労した「ネジのはめ合わせが難しかった」をつかんだ。

準優勝は仲上和志選手（瑞木製作所）。工業高校卒業後、入社して3年に満たないが「不良を1回も出したことがない」（鈴木邦男同社会長）という確かな技術力が光った。

第3位に入賞したのは、山田拓実選手（明和eテック）。機械製図の経験はまだ2年ほどだが、「スキルを上げるため、教本でコツコツと勉強した」という努力が実った。

電子機器組立て職種は、成瀬貴臣選手（中日本炉工業）。自宅でも練習に取り組み、思いを遂げた。

電子機器組立て・入賞者の声

高校時代の雪辱果たせた

成瀬　貴臣さん
中日本炉工業

高校時代に、モノづくりコンテストの電子回路組立部門に参加したことがありました。その時は第4位という結果でした。今回のコンクールを知ったとき、高校時代の入賞できなかった悔しさがよみがえり、これを払しょくしようと出場を決めました。

私は普段、機械設計の業務に従事しているため、事前講習会で高校時代の〝カン〟を取り戻せたことは助かりました